

国語科学習指導案

指導者 大山 陽子

1 日 時 平成 24 年 11 月 19 日 (月)

2 学 年 第 6 学年 1 組 26 名 [6 年 1 組 教室]

3 単 元 名 三ツ星本 紹介本舗 ～ヒロシマからのメッセージ 26～
(学習材: 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう「ヒロシマのうた」東京書籍 6 年下)

4 単元設定の理由

- 本単元は、小学校学習指導要領第 5 学年及び第 6 学年の「C 読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には以下のように示されている。

- (1) エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
- オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。
- カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

本単元では、原爆と人間の生き方について書かれた教材文を学習した後、それをきっかけに戦争と人間の生き方を描いた本へと読み広げ、作品が強く語りかけてきたことをメッセージにまとめるという言語活動を通じ、物語の中での出来事や登場人物の心情に着目し、それをふまえて叙述内容を読み取る力と、自分の考えを明確にもち、物語の主題に対する自分の考えを簡潔に表現することをねらいとしている。

原爆投下から 67 年が経過し、戦争体験者の高齢化等により、戦争を二度と繰り返してはならないという思いの継承は風化しているといわれている。このようなときに、戦争と人間の生き方をテーマとした、教材に出会わせることは、児童が深い思考力を養ったり、今後の自分の生き方を考えたりする上で有効であると考えます。

また、メッセージ作りを仕組むことで、作品の主題に対する自分の考えを踏まえて、自分が興味をもった本を読み広げ、自分の考えをメッセージにまとめることができることを目指し、本単元を設定した。

- 本学級の児童は、6 月に説明文「イースター島にはなぜ森林がないのか」の学習を行い、繰り返し出てくるキーワードや、文末表現に着目させながら、事実と意見を区別し、筆者の主張とその根拠を読み取った。読み取ったことに対しての自分の考えをもち、考えを広げるために行動宣言を作成した。行動宣言作成では、教材文の構成の工夫や明確な根拠となる資料等を活用しながら、説得力のある表現で、文章全体の構成を考えながら書くことができた。

7 月に物語「ばらの谷」の学習を行い、物語の構造分析を行ったあと主人公の心情の変化を曲線で表し、その変化の理由を叙述をもとに話し合うという言語活動を通して、作品の主題を読み取る力をつけることができた。

児童は文章の構成を考えながら主題をとらえる学習に苦手意識はもっていない。しかし、友達の意見を聞くときに自分の考えと比べながら聞いたり、物語の主題に対する自分の考えを、自分の

生き方と照らし合わせながら表現したりすることは十分とはいえない。

○ 指導にあたっては、次の4点を工夫する。

第一は、戦争と人間の生き方を描いた本の紹介を、26人の「ヒロシマからのメッセージ」として給食時間の校内放送で紹介するという学習のゴールを設定し、教材文の主題を読み取ることやそれに対する自分の考えを表現することの必然性を持たせ、学習の見通しを持たせる。

第二は、教材文の読解を行う際、登場人物の相互関係、語り手の視点に着目させながら、登場人物の心情や生き方をとらえ、物語の主題を読み取らせる。読み取ったことに対しての自分の考えを持たせ、考えをまとめて400文字程度のメッセージを作成する。

第三は、教師の作成したメッセージのモデルを掲示したり学校図書館等の関連するテーマの本を紹介したりするなどして、比べ読みができるようにする。また、学習が始まる前から戦争と人間の生き方に関する本を教室に置き、児童が並行読書できる環境整備を行う。

第四は、互いのメッセージを読み合う際には、ペアやグループの話合いを取り入れ、メッセージを伝えたい相手に相応しい表現になっているかや、物語の主題やそれに対しての自分の考えが入っているかの観点でよさを見つけさせる。読んだ後に感想を交流して、メッセージ作りの成就感を持たせる。

5 研究主題との関わり

(1) 扱う言語活動例

本を読んで推薦の文章を書くこと。

(読むこと 言語活動例エ)

(2) 言語活動を充実させるための指導方法の工夫

自分の考えをまとめるために書く場面を設定する。メッセージ作成の際には、テーマに沿った本をじっくり読ませる。また、読み手の心に響かせる表現にするために、自分の心に強く語りかけてきた言葉や叙述の工夫の見つけ方を教材文で学ばせる。

6 単元の目標

- 情景や登場人物を想像しながら関連するテーマの本を複数読み、作品からメッセージを読み取ろうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

- ◎ 物語全体の流れをふまえ、登場人物の心情や生き方について読み取ることができる。

【読むこと エ】

- 物語を読んで考えたことや、戦争と人間について考えたことを話し合い、自分の考えを広げることができる。

【読むこと オ】

7 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読むこと
単元の 評価規準	○情景や登場人物を想像しながら関連するテーマの本を複数読み、作品からメッセージを読み取ろうとしている。	◎情景と登場人物の考え方や生き方を読み取り、作品の主題をとらえている。 ○自分の課題を解決するために、優れた叙述に気付き、想像を豊かに読んでいる。
学習活動における 具体的評価規準	○戦争や人間の生き方の問題について関心を持ち、問題意識をもって学習に取り組もうとしている。 ○物語が強く語りかけてくることを見つけ、メッセージに書こうとしている。 ○友達の書いたメッセージを読み、よさを見つけようとしている。	◎「ヒロシマのうた」を読み、情景や登場人物の心情や主題を読み取っている。 ○自分の課題を解決するために複数の本を探し、作品の主題を読み取り、自分の考えをまとめながら読んでいる。 ○メッセージを読み合い、自分と友達の考えの共通点や相違点に気付き、自分の考えを広げながら読んでいる。

8 指導計画（全8時間）

次	学 習 活 動	評 価			
		関	読	評価規準	評価方法
一	学習課題「ヒロシマからのメッセージ26を届けよう」を設定し、学習の見通しをもつ。 (1)	○		○ 戦争と人間の生き方への関心を持ち、問題意識をもって学習に取り組もうとしている。	行動観察 ノート
二	教材文を読んで主題をとらえ、主題に対する自分の考えをまとめる。 (4, 本時3/4)		○	◎ 「ヒロシマのうた」を読み、情景や登場人物の心情や主題を読み取っている。 ○ 作品の主題をとらえ、自分の考えをまとめながら読んでいる。 ○ 意見交流を通して自分と友達の考えの共通点や相違点に気付き、自分の考えを広げながら読んでいる。	ワークシート 付箋
三	意図を明確にしてメッセージを作り、推敲する。 (2)	○	◎	◎ 本から主題を読み取っている。 ○ 作品が強く語りかけてきたことをメッセージに書こうとしている。 ○ 友達のアドバイスを生かし、自分の考えを広げながら読んでいる。	ワークシート メッセージ
四	メッセージを互いに読み合い、成果を分かち合う。 (1)	○	◎	◎ 友達のメッセージを読み、よさを相手に伝えている。 ○ 友達の書いたメッセージを読み、よさを見つけようとしている。	行動観察 メッセージ 付箋

9 本時の展開

(1) 本時の目標

ヒロ子がワイシャツに込めた思いについて考え、ヒロ子の心の強さや成長を読み取ることができる。

(2) 観点別評価規準

○ ヒロ子の心の強さや成長について、ヒロコの人柄や行動に関する叙述に即して読み取り、話し合っ
て友達の考えを取り入れ、自分の考えをまとめている。 [読むこと]

(3) 本時のポイント

ヒロ子がワイシャツに込めた思いについて、刺繍の意味を考え本文中の叙述を手がかりに話し
合わせることで、心の強さや成長を読み取ることができるようにさせる。

(4) 準備物

ワークシート 場面絵

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 原子雲について確かめる。</p> <p>2 P71・ 5行目～最後を音読し、 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○原子雲に対するヒロ子の思いを想像させる。</p> <p>○ヒロ子の人柄に関する叙述に着目させ、強調しながら音読する。</p>	
<p>ワイシャツを作ったヒロ子の思いを読み取ろう。</p>		
<p>3 ヒロ子の思いについて話し合う。</p> <p>・ワイシャツにはどんな思いがこめられているのだろうか。</p> <p style="text-align: center;">(個人→ペア→全体)</p>	<p>○ヒロ子の心情がわかるところに線を引かせる。</p> <p>○一人読みの時間を十分に確保し、考えを全員に持たせる。</p> <p>○原子雲がヒロ子にとってどういう意味を持つのか思い起こさせ、あえて刺繍することの意味を考えさせる。</p> <p>○悲しみを乗り越えたくましく生きていこうとするヒロ子の心の強さや成長に気付かせる。</p> <p>○ヒロ子が自分の成長を見せたという強い思いや、「わたし」への感謝の気持ちを、「わたし」やお母さんの会話を手がかりにして書かせる。</p>	<p>○本文の叙述に基づいて、ヒロ子の心の成長について読み取っている。 (行動観察・ワークシート)</p>

<p>4 最後の一文について話し合 う。 ・ 汽車を通して表現されてい るものは何だろう。 (個人→全体)</p>	<p>○「するどい汽笛」「上り」に着 目させ、ヒロ子のきっぱりと した決意や、悲しみを乗り越 える力強さの暗示であること に気付かせる。</p>	<p>○自分の意見を明確にして 話し合い、友達の意見を聞 いて自分の考えを広げよ うとしている。 (行動観察)</p>
<p>5 学習のまとめをする。</p>	<p>○ヒロ子の心の成長について自 分が思ったことをまとめる。 ○次時は題名にこめられた作者 の思いを考えることを確認す る。</p>	<p>○本時の授業について、「他 者視点」「自己モニター」 の視点で振り返り、付箋 紙（ブルー、ピンク）に 記入させる。</p>